

ミライを創る未来都市戦略

千葉市がめざすスマートシティ



1 スマートシティとは

2 スマートシティ推進課の主な取組内容

3 その他(職場の雰囲気など)

1(1)スマートシティとは

都市や地域が抱える諸課題の解決を行い、または価値を創出し続ける持続可能な都市や地域

ICT等の新技術や官民各種のデータ活用による

各種分野におけるマネジメント(計画、整備、管理等)の高度化など

市民一人一人に寄り添ったサービスの提供

【出典】スマートシティガイドブック(内閣府等)

1(3)千葉市の目指すスマートシティ

スローガンは…

こちよく

ちょうどいい

みんなで作る「快・適」なまち！



ポイント

1

個別最適 … あらゆる市民が自分に最適な暮らしを実感

- ・テクノロジーの活用などにより、多様な選択ができる
- ・一人ひとりが自分にあったサービスを受けられる

ポイント

2

全体最適 … 自然環境に配慮し、大切な資源を活かした、持続的な発展

- ・自然環境に配慮した持続可能なまちづくりが必要
- ・限りある時間・空間・その他の資源を賢く有効に利用

ポイント

3

市民中心 … 様々な主体が、地域の課題解決、新たな価値を創造

- ・市民とともに取り組むことでニーズを反映した解決を図る
- ・民間企業等のテクノロジーを活用し、新たなサービスを創出

スマートシティ推進課って、具体的になにしてるの？

- 1 スマートシティの推進に係る普及啓発・マッチング支援
- 2 スマートシティ実証補助事業の実施
- 3 デジタルデバイド対策
- 4 民間提案総合窓口「コネクテッドセンターちば」の運営
- 5 Well-Being指標の活用

2(2)スマートシティの推進に係る普及啓発・マッチング支援

スマートシティプロジェクト

スマートシティ推進ビジョンの実現に向けて、現時点で予定している具体的な取組みをまとめたパンフレットです。2023年4月に「スマートシティプロジェクト2023」を発行し、全31プロジェクトを掲載しています。 ※スマートシティプロジェクトは毎年度更新します。



【プロジェクトの内訳】

暮らしがスマート！関連……6プロジェクト
ビジネスがスマート！関連……5プロジェクト
学びがスマート！関連……5プロジェクト
まちがスマート！関連……11プロジェクト
市役所がスマート！関連……4プロジェクト
計 31プロジェクト

2(3)スマートシティ実証補助事業

スマートシティの実現に向けて、テクノロジーの活用などにより市民生活の質の向上を図るとともに、持続可能なまちづくりを進めるため、地域課題の解決や新たな価値の創造に資する民間企業等が行う実証事業の実施に要する経費等の補助を行うことを目的とした補助事業です。

令和5年度実証事業：先進的なテクノロジーを活用した地域資源(千葉氏)のPR

VRコンテンツ制作とイベントにおける市民体験型の実証を行い、市民の「千葉氏」に対する認知度(理解度)、好意度の向上を図る。



▲イオンモール幕張新都心での体験会

【やりがい】事業者と所管課と二人三脚で一つの事業を成し遂げる達成感

【苦勞した点】0から1を生み出す難しさ、イベント実施の調整

2(4)デジタルデバイス対策

社会のデジタル化を進めるなかで、デジタルを使いこなせる方々と、そうではない方々の「デジタル格差」(デジタルデバイド)が生じています。

誰もがデジタル化の恩恵を享受できる社会の実現を目指し、デジタルについて学び、利用することへの不安解消に向けて、学びの機会の提供等のデジタルデバイス対策を進めています。

【目指す姿】

民間事業者や国等との連携により高齢者などが身近な場所でスマホの使い方を相談できる重層的なサポート体制の構築

【実現に向けた取組み】

- ・スマートフォン講座の開催
- ・スマートフォン相談会の開催



▲初心者向けスマホ相談会

2(5)民間提案総合窓口「コネクテッドセンターちば」の運営

民間企業等からの行政課題や地域課題の解決に向けた提案の受付け、関係部局との調整、各種サポート等を一元的に行う窓口です。

関係部局と連携しながら、様々なモノ・コトを「つなぐ」(CONNECT=コネクト)ことで、民間提案の実現をサポートします。

【取組事例(一部)】

●移動販売車の運行

・移動手段がなく、日々の買い物に不自由を抱える花見川区の住民向けに移動販売車の運行を実施。

●自転車利用者の増加や安全利用に繋がる取り組み

・交通ルールの啓発・再周知を行うため、謎解きを用いた事業を展開。12月に開催された千葉市主催の交通安全教室において、親子参加型の「謎解き」を盛り込んだ啓発コンテンツを実施。



CONNECT

2(6) Well-Being指標の活用

デジタル田園都市国家構想基本方針より

- Well-Being(市民の幸福感)の実現等を通じて「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す。
- 多様な住民の暮らしを巻き込みながら、その暮らしが本当に向上しているのかどうか、Well-beingの視点を大切にした取組を進めていくことが重要。

⇒Well-Being指標についての勉強会(研修)を実施



▲市長への報告会の様子

3 その他

課の特色

- ・最新の未来技術に実際に触れることができ、市の取組として活用できるか検討できます！
- ・庁内外問わず様々な方とコミュニケーションをとることで、自身の成長にもつながり、視野も広がります！

職場の雰囲気

- ・少人数でアットホーム。相談しやすい雰囲気です。
- ・新しい庁舎でキレイ！隣の課と距離も近く話題を共有しやすいです。
- ・困難な課題も上司のサポートのうえ、協力し合って乗り越えられます！

🚩ぜひ一緒に千葉市のミライを築きましょう🚩

みんなで作る「快・適」なまち！



職員採用説明会 ～ミライを創る 未来都市戦略部～



2024年3月

総合政策局 未来都市戦略部 国家戦略特区推進課

目次

1. 国家戦略特区

2. ドローンによる宅配等の取組み

3. 自動運転モビリティ等の導入

4. 未来技術等の社会実装サポート

5. おわりに(規制改革アイデア募集)...

1. 国家戰略特区

国家戦略特区の概要

国家戦略特別区域法（2013年12月13日公布、施行）

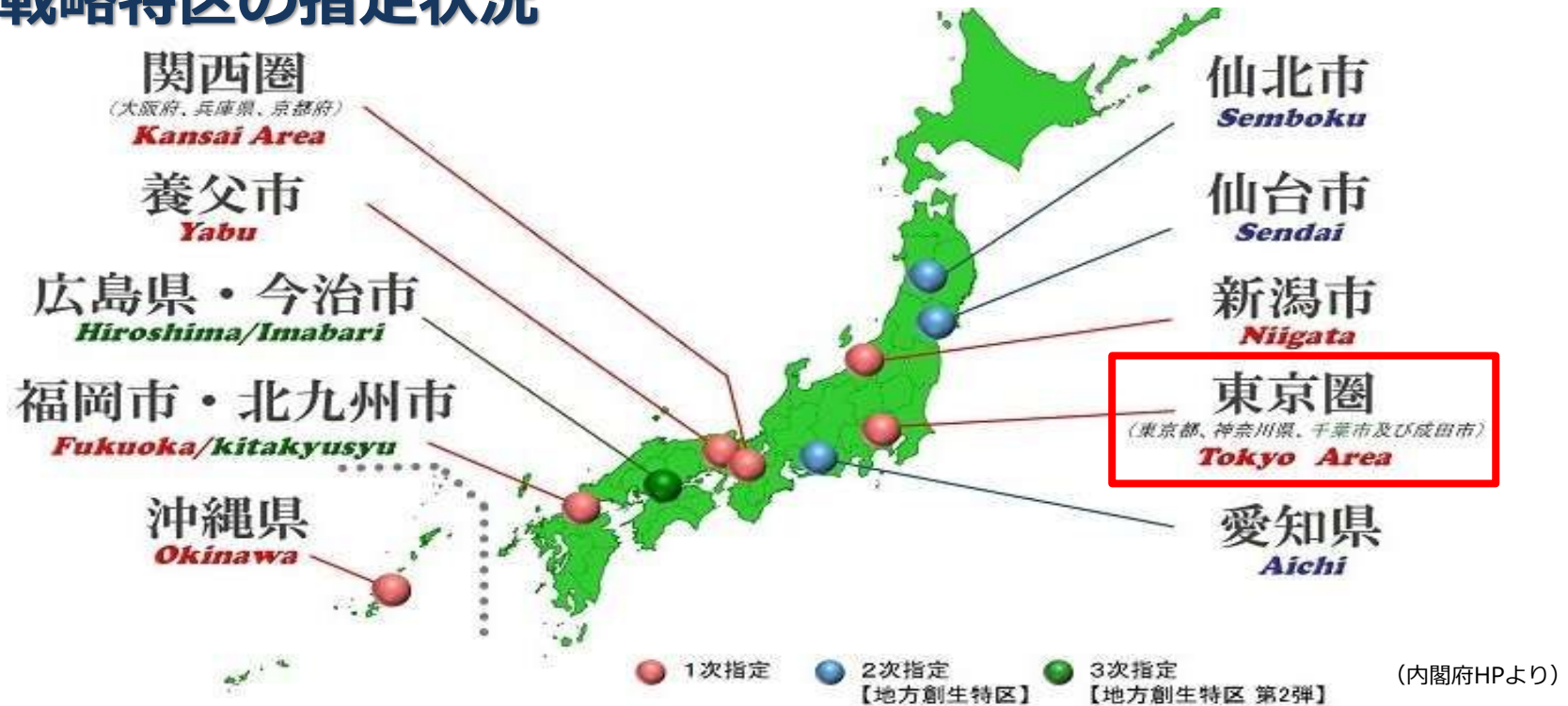
「国家戦略特区」は、

“世界で一番ビジネスをしやすい環境”を作ること

を目的に、地域や分野を限定し、大胆な規制・制度の

緩和や税制面の優遇を行う規制改革制度

国家戦略特区の指定状況



第1次指定 (2014.5.1)

1. 東京圏 (東京都、神奈川県、千葉県成田市)
※東京都は2015.8.28都全域に区域を拡大
2. 関西圏 (大阪府、兵庫県、京都府)
3. 新潟県新潟市
4. 兵庫県養父市
5. 福岡県福岡市
6. 沖縄県

第2次指定 (2015.8.28)

1. 秋田県仙北市
2. 宮城県仙台市
3. 愛知県

第3次指定 (2016.1.29)

1. 千葉市 (東京圏に追加)
2. 広島県・愛媛県今治市
3. 北九州市 (福岡市に追加)

1. 国家戦略特区

国家戦略特区の流れ

規制緩和の提案
→ 規制改革メニュー

- 「特例措置の創設」… 提案は誰でも行うことができ、随時募集
- 「個別の事業認定」… 国家戦略特区に指定された自治体のみ特例措置を実現

規制改革メニュー活用



(内閣府HPより)

規制改革メニュー（現在64事業※2024.2月時点）

都市再生

- ・容積率・都市計画ワストップ[°]（9）
- ・公社管理道路 ※構造改革特区
- ・建築物用地下水の採取
- ・中心市街地活性化
- ・大阪・関西万博に関連して設置される仮設工作物
- ・大阪・開催万博に関連して建築される仮設建築物

創業

- ・開業ワストップ
- ・公証人
- ・官民人材（2）
- ・信用保証（一般社団等）
- ・テレワーク
- ・工場の新増設

近未来技術

- ・近未来技術実証ワストップ[°]
2018.3.9計画認定
- ・地域限定型
規制のサンドボックス（4）

観光

- ・旅館業法 2017.12.15計画認定
- ・旅館業法（宅建法）
- ・自家用自動車
- ・出入国手続き

医療

- ・外国医師
- ・臨床修練
- ・病床
- ・医学部
- ・医療法人
- ・医療機器相談
- ・医薬品相談
- ・可搬型PET
- ・臨床試験専用病床
※構造改革特区

介護

- ・ユニット型指定介護

保育

- ・地域限定保育士（2）
- ・小規模認可保育所
（対象年齢）
- ・地方裁量型認可化移行施設
- ・認可外保育施設

雇用

- ・雇用条件

教育

- ・公設民営学校
- ・獣医学部
- ・革新的な研究開発の社会実装のための施設整備等の推進
※構造改革特区

農林水産業

- ・農業委員会
- ・企業農地取得
- ・国有林野（面積）
- ・国有林野（貸付対象）
- ・特産酒類（焼酎等）※構造改革特区

外国人材

- ・外国人エンジニア
- ・家事支援外国人材
2019.2.14計画認定
- ・創業外国人材
- ・クールジャパン外国人材
- ・外国人雇用相談
- ・農業支援外国人材
- ・創業外国人材（事業所確保の特例）
- ・創業外国人材
（在留資格「留学」からの資格変更）
- ・創業外国人材
（在留資格「特定活動」からの資格変更）
- ・外国人美容師

千葉市の取組み

2016年1月、国家戦略特区に指定

『幕張新都心の中核とした「近未来技術実証・多文化都市」の構築』

…幕張新都心エリアを中心にドローンや自動運転モビリティなどの実証を展開

※幕張新都心について

○位置

東京都心や成田空港のほぼ中間に位置し、各々へ30分程度という優れた立地条件



○まちづくりのコンセプト

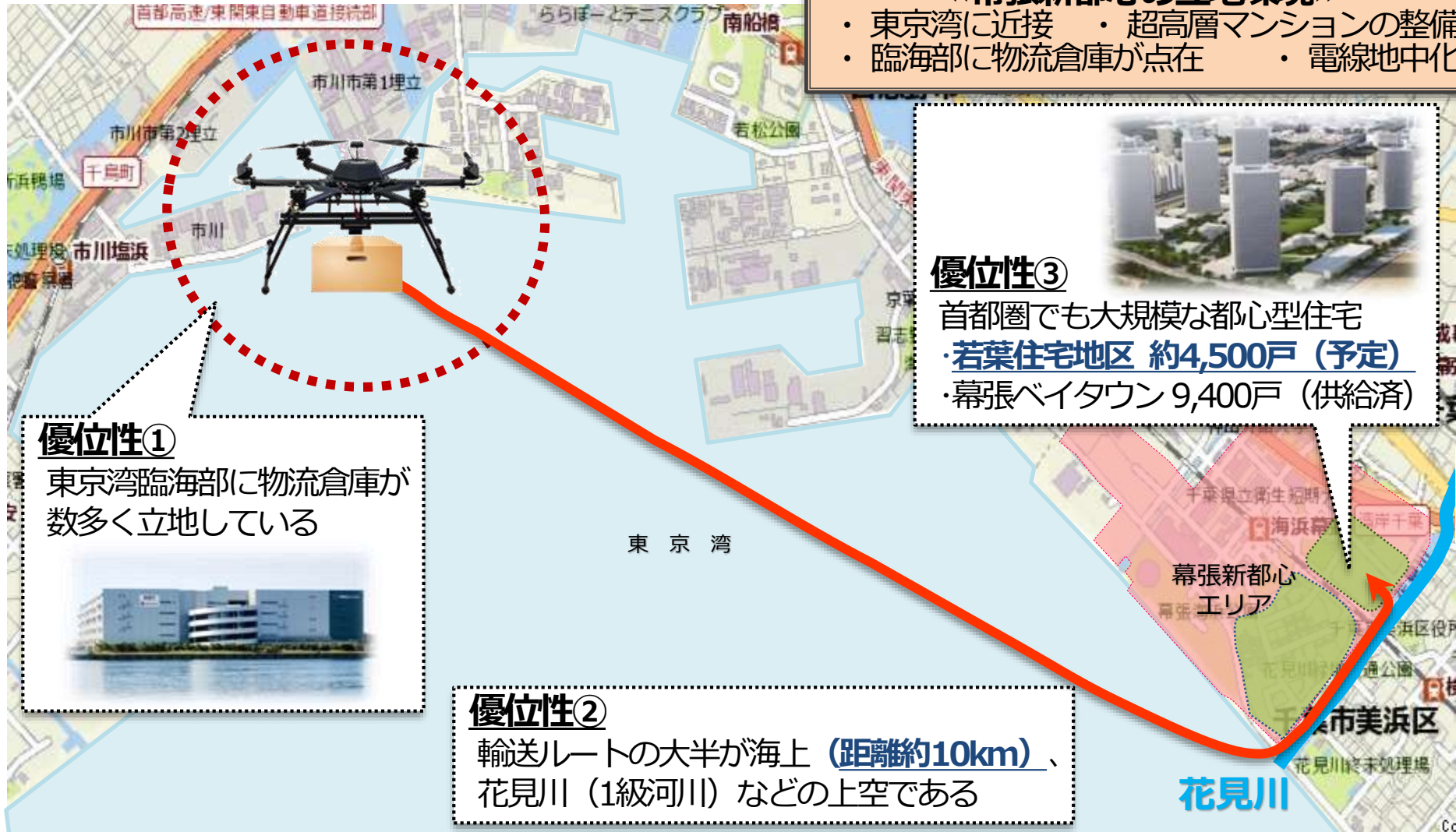
「職・住・学・遊」が融合した**未来型の国際都市**

- 1 幕張メッセを核とした国際的な業務機能の集積
- 2 先端・成長産業の中核的業務機能及び研究開発機能の集積
- 3 先端技術産業に対応する高度な人材を育成する学術・教育機能の集積
- 4 新しい時代の社会的ニーズやライフスタイルに対応した快適で魅力的な居住環境の実現

2.ドローンによる宅配等の取組み

2.ドローンによる宅配等の取組み

東京湾臨海部の物流倉庫から、ドローンにより海上や河川の上空を飛行し、幕張新都心内の超高層マンション各戸へ生活必需品や医薬品（処方薬を含む）等を配送する構想



「幕張新都心の立地環境」

- ・ 東京湾に近接
- ・ 超高層マンションの整備
- ・ 臨海部に物流倉庫が点在
- ・ 電線地中化

優位性③
 首都圏でも大規模な都心型住宅
 ・若葉住宅地区 約4,500戸（予定）
 ・幕張ベイタウン 9,400戸（供給済）

優位性①
 東京湾臨海部に物流倉庫が数多く立地している



優位性②
 輸送ルートの大半が海上（距離約10km）、花見川（1級河川）などの上空である

2.ドローンによる宅配等の取組み

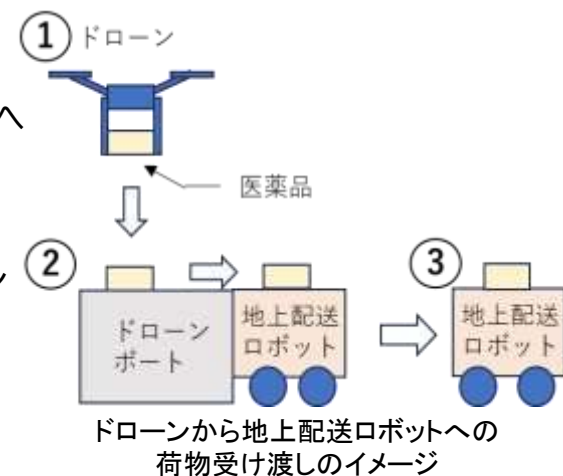
ドローン宅配実証実験

【実証実験概要】

- 実施日時：2023年12月18日～20日
- 実施主体：(株)ダイヤサービス
- 実施内容：ドローンポートを介したドローン及び地上配送ロボット連携によるマンション個宅への医薬品無人配送実証実験を実施。
 - 本市が想定しているドローン宅配構想ルートにおけるラストワンマイル部分について、平成30(2018)年度に実施したマンションミュージアムでの実証から、ドローンポートを活用した荷物の無人受け渡し及び住民が居住するマンションでの実証にステップアップして実施

【成果】

- ドローン及び地上配送ロボットのドローンポートを介した連携によるマンション個宅への無人配送に成功。
- オンライン服薬指導受診から患者宅への模擬の医薬品配送までをサービス実装を想定して実施。



2.ドローンによる宅配等の取組み

ドローン活用推進事業（一例）

2021年度実施業務 **新たに民間事業者の活用を支援！！**

【行政課題型】

・千葉ポートタワー外装点検調査業務



【民間支援型】

・アンローダー（港湾荷役機械）の臨時点検



【民間支援型】

・ZOZOマリンスタジアムの周辺警備等



2022年度実施業務

【行政課題型】

・水中ドローンによる橋梁洗堀等調査



【民間支援型】

・千葉都市モノレール車両基地の軌道桁点検



【民間支援型】

・千葉市科学館でのドローン体験イベント



2.ドローンによる宅配等の取組み

千葉市ドローン産業セミナー

市内ドローン関連産業の更なる活性化及び産業集積に向けて、多分野でのドローン活用を促進するため、ドローンの利活用に関心のある事業者を対象として、ドローンによる取組事例等を紹介する『千葉市ドローン産業セミナー』を開催。当日は登壇各社との商談も開催。



- 実施日時：2022年6月23日
- 会場：幕張メッセ
ジャパンドローン2022と同時開催
- 参加者：81人

日時 6月23日(木) 13:30-16:50 (開場13:00)

場所 幕張メッセ 国際会議場 201会議室
〒261-8550 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1

対象 産業用ドローンの利活用に携わる
民間事業者、行政関係者など

定員 70名
※完全事前申込制となります。
応募者多数の場合は、抽選となりますので、ご了承ください。

申込 ※6月15日(木)申込締め
「ちは電子申請サービス」からお申し込みください。
(以下QRコードから誘導)

お問い合わせ先 千葉市 総合政策局 未来都市戦略部 国家戦略特区推進課 (担当: 坂本、及川)
TEL: 043-245-5347 メール: tokoku.LPOF@city.chiba.lg.jp



3.自動運転モビリティ等の導入

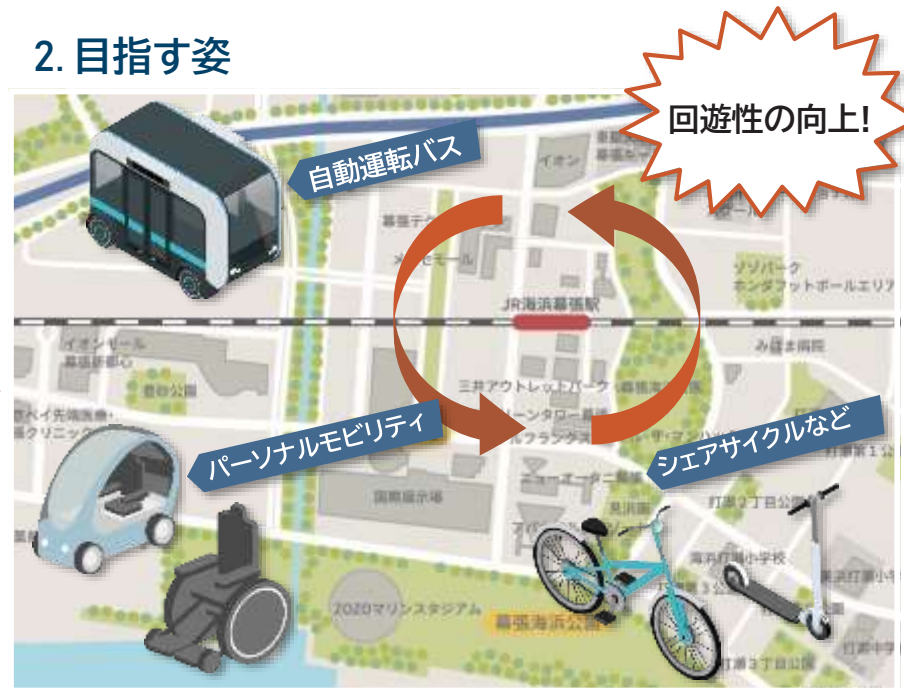
3. 自動運転モビリティ等の導入

幕張新都心の課題「回遊性の向上」

1. 現状と課題



2. 目指す姿



○施設間に一定の距離があり、
来街者の多くがJR海浜幕張駅と目的施設との「単純往復」となっている



民間主体の自動運転モビリティ等のシェアリングサービス導入により、
拠点間の移動負担を軽減することで**回遊性の向上**、**賑わい創出**を図る。

3. 自動運転モビリティ等の導入

パーソナルモビリティシェアリングサービス

本市が想定するパーソナルモビリティとは…

次世代型の電動車いす等の1人乗りの移動機器で歩行者領域を走行するもの。

- ▶ 道路交通法の車両規格は「原動機を用いる身体障害者用の車椅子」の基準を満たす
- ▶ 走行速度は6 km/h以下
- ▶ 屋内外のシームレスな移動が可能
- ▶ 高齢者や外国人など誰もが利用可能



**無人・自動走行による
シェアリングサービスの
実現を目指す**

(主な事例)



WHILL株式会社

AISIN 株式会社アイシン

WHILL (ウィル)

Model A



Model C



ILY-Ai (アイリ-エ-アイ)



実証実験の様子



CEATECにおける自動走行バスの公道実証実験

「CEATEC2019」において、CEATEC実施協議会及びSBドライブ(株)と共同で、県内初となるハンドルが無い自動走行バスの公道実証実験を実施

千葉市 × CEATEC 2019 × SB Drive

試乗体験実施日時

2019年10月15日(火)～18日(金)

走行経路

幕張メッセ国際展示場発着の周回コース
(約1.5km、左回り)

実証実験概要

- ・緊急時に手動運転に切り替え走行
- ・車両の信号情報取得による安全走行・停止を実現
- ・自立走行車両運行プラットフォームによるダイヤに基づく運行管理

走行車両概要

NAVYA ARMA (仏NAVYA社製) 1台

乗車定員 : 11人

動力 : 電動機 (定格出力 15kw × 1基)

300名超
が試乗体験



(写真 : SBドライブ(株)より提供)

自動運転バスによる公道実証実験

・地域の交通事業者、企業と共同により、公道での自動運転バス実証実験を実施

試乗体験実施日時

2020年3月23日（月）～27日（金）

走行経路

イオンモール幕張新都心の周回コース
（約1.6km、左回り）

走行車両概要

日野 ロングボデーベース 1台
乗車定員：11人 最高速度：30km/h（実証実験中）

実証実験概要

・地域のバス事業者（京成バス）が運用者として実施



×



自動運転バスによる公道実証実験

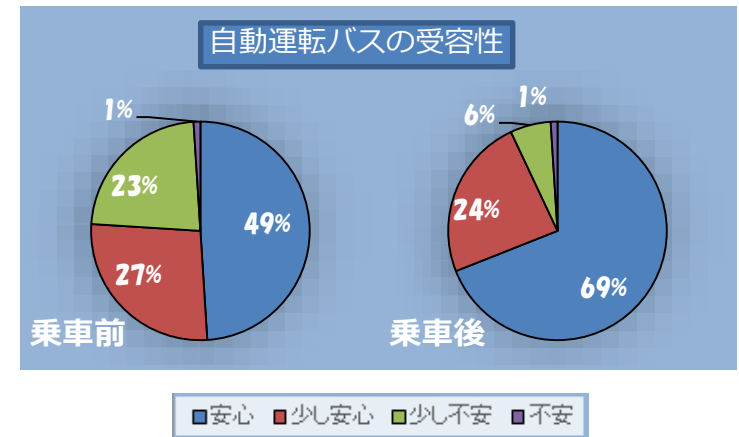
- 実施日時：2022年1月15日～16日 10時～15時30分
- 実施主体：京成バス(株)、損害保険ジャパン(株)、アイサンテクノロジー(株)、(株)建設技術研究所、埼玉工業大学
- 走行車両：日野リエッセII（乗車定員9人、計10回走行）
- 目的：交通渋滞や異なる速度の車両が存在する環境下での自動運転動作、多車線での右左折挙動の技術検証、モニター等による地域ニーズの確認
- 実施概要：イオンモール幕張新都心～JFA夢フィールド幕張温泉湯楽の里の2か所の乗降場所を走行 ※往路のみ、ZOZOマリンスタージアムを經由
- 成果：利用者 2日間で延べ86人



(車両)



(走行ルート)



(アンケート調査結果)

自動運転バスによる公道実証実験

【実証実験概要】

- 実施日時：2023年1月21～22日 10時～15時（5便/日）
- 実施主体：京成バス(株)、損害保険ジャパン(株)、アイサンテクノロジー(株)、(株)建設技術研究所、埼玉工業大学、(株)東海理化
- 走行車両：日野レイボ-Ⅱ
- 目的：遠隔監視の実施、一般車両が存在する実際の社会実装を想定した環境下での各種技術検証
- 実施内容：自動運転バスの公道実証実験（自動運転レベル2）
 - 「イオンモール幕張新都心グランドモール前」→「ZOZOマリンスタジアム」→「幕張ベイタウン」→「幕張ベイパーク」の周回コース（約8.5 km）を走行

【成果】

- 上記環境下においての自動運転走行に成功（停車車両回避等以外、殆どを自動運転により走行）。
- 前年度のシステムに加えてIMU（慣性計測装置）の導入により正確性の向上が確認できた。
- 2日間で延べ130人程度の試乗があり、試乗者の声として、急発進・急減速などに対する乗り心地の面では多少課題の残る結果となったものの、「右左折」、「周囲の流れに対する走行」などについては好印象が多かった。



実証実験車両



運行ルート図

3.自動運転モビリティ等の導入

自動走行ロボットを活用したサービス実証

【実証実験概要①配送サービス】

- 実施日時：2022年3月10日～24日 10:00～17:00（3便/日）
- 実施主体：京セラコミュニケーションシステム(株)、損害保険ジャパン(株)、イオンリテール(株)
- 目的：自動走行ロボットを活用した新たな配送サービス実証
 - 都市部での歩行者や自動車等混在空間に対応した自動運転動作等の技術検証
 - 利用者や参加店舗へのアンケートによる、サービスの効率性・利便性・有効性・社会受容性の検証
- 実施内容：
 - 自動走行ロボットが小売店とマンションを含むルートを定時巡回
 - 利用者は購入商品をロボットに預け、自宅マンション近くで受取
 - ロッカーの開閉はスマホorタッチパネル操作で実施

【成果】

- モニター登録者69名。ロボットの公道走行については、約8割の方が「問題ない」との意見であった。
- また、エリア範囲の拡大、時間帯に対する要望など、様々なニーズの確認ができた。



【実証実験概要②移動販売サービス】

- 実施日時：2022年7月28日～8月10日（うち10日間） 10:00～18:00
- 実施主体：京セラコミュニケーションシステム(株)、損害保険ジャパン(株)、イオンリテール(株)
- 目的：自動走行ロボットを活用した新たな移動販売サービス実証
 - 自動走行ロボットを活用した移動販売サービスの効率性・利便性・有効性を評価
 - 社会に受容されるロボットサービスに向けた基本情報の取得
- 実施内容：
 - 小売店舗で商品を積込
 - 近隣の公園やマンションを巡回し、あらかじめ決められた場所で一定時間駐車し、商品を販売
 - 利用者がロボット搭載のタッチパネルやスマホを活用して購入

【成果】

- 10日間で利用回数360回、417個の商品を販売を実施。
- 98%の方が、今後自動走行ロボットを活用したサービスに対して「期待する」と回答があり、一定のニーズがあることの確認ができた。



電動サイクル（特定小型原動機付自転車）シェアサービス実証実験

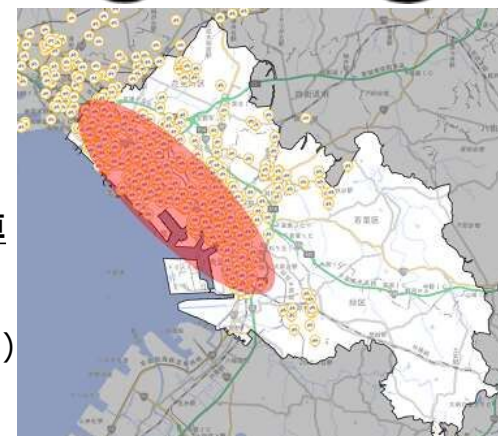
特定小型原動機付自転車シェアサービス実証実験の概要は以下のとおり

実施目的・体制

- 実施目的
 - 道路交通法の一部を改正する法律（令和4年法律第32号）が令和5年7月1日に施行され、電動キックボード等を取り巻く環境が変化したことに伴い、シェアリング方式での特定小型原動機付自転車の利用状況、回遊性の向上、交通行動の変化、安全性、事業の採算性等について検証すること
 - 公共交通機関や普及が進むシェアサイクルなど他のモビリティとの利用形態との違いを検証し、多様なモビリティ導入の有効性及び課題を明らかにすること
- 実施体制
 - 民間資金を活用し、行政は税金投入しない事業モデル
 - 千葉市が実施主体、事業者が運営主体となり、共同で事業を実施する

実施概要

- 実施期間
 - **令和6年1月30日～令和7年3月末**
- 実施期間
 - **幕張新都心を含む赤枠のエリア（総武線より海側）**
 - 将来の千葉市全域での展開を視野に入れ、サービス開始時点でJR各駅・幕張メッセ・市役所を含むエリアに車両200台を投入（実証実験終了の令和7年3月までにステーション500か所車両600台を投入）
- 車両
 - **重心が低く安全性の高い、着座式（バイクタイプ）の特定小型原動機付自転車**
- 利用料金
 - 15分ごと200円（12時間最大4000円）
 - （参考）シェアサイクルは30分130円、以降15分100円（12時間最大1800円）
- 備考
 - **シェアサイクルと同様のラック・アプリ（HELLOCYCLING）を活用したサービス**



3.自動運転モビリティ等の導入

幕張新都心モビリティコンソーシアム（1/2）

【設立趣旨】

企業、大学、住民及び行政の連携により、多様な主体による新しいモビリティサービスを実現し、地域の移動課題への対応や回遊性の向上、地域の活性化を通じて持続可能な都市づくりを目指すため設立。

【概要】

- 設立日時：2021年2月9日
- 参加団体：60団体が参加（2023年7月末日時点）
幕張新都心に事業所を置く民間企業や大学、交通事業者、地元住民など
- 実施内容：新しいモビリティサービスに関する実証実験やサービス導入に向けた活動会員間の情報共有及び連携促進に関する活動

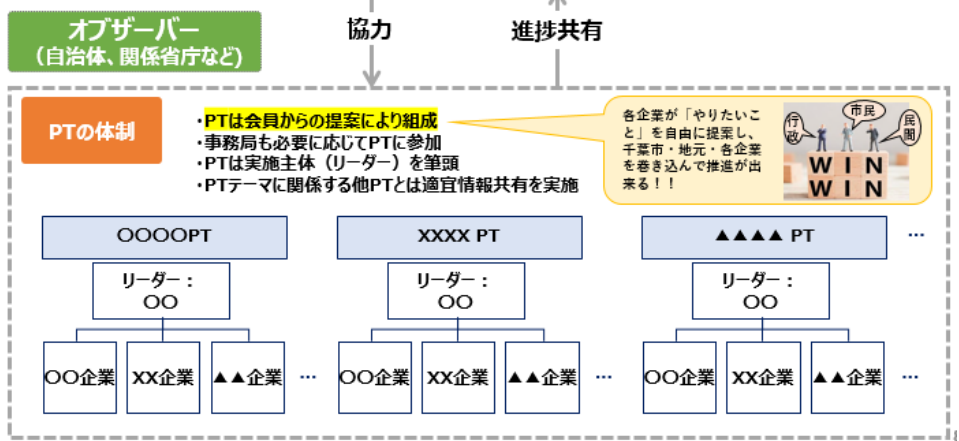


取組んでいる主な取組み

- 自動運転車サービスの導入
- サービスロボットを活用した新たなサービスの導入
- 幕張新都心版MaaSの導入
- パーソナルモビリティを活用した新たなサービスの導入

幕張新都心モビリティコンソーシアム
 座長：岡村敏之（東洋大学 教授）

※年に数回の定例会を開催



3. 自動運転モビリティ等の導入

幕張新都心モビリティコンソーシアム (2 / 2)

アイサンテクノロジー株式会社	株式会社 JTB コミュニケーションデザイン	三井住友海上火災保険株式会社
株式会社アイシン	シャープ株式会社	三井不動産株式会社
イオン株式会社	Super Massive Global株式会社	三井不動産レジデンシャル株式会社
イオンコンパス株式会社	双日株式会社	三ツ矢エミタスタクシーHD株式会社
イオンタウン株式会社	損害保険ジャパン株式会社	MONET Technologies株式会社
イオンモール株式会社	ダイハツ千葉販売株式会社	リンクティビティ株式会社
イオンリテール株式会社	ダイナミックマッププラットフォーム株式会社	神田外語大学
株式会社ヴァル研究所	株式会社ティアフォー	久留米工業大学 インテリジェントモビリティ研究所
NECソリューションイノベータ株式会社	千葉共同印刷株式会社	国立大学法人群馬大学 次世代モビリティ社会実装研究センター
株式会社NTTドコモ	株式会社千葉ステーションビル	国立大学法人千葉大学
MS & AD インターリスク総研株式会社	株式会社千葉ロッセマリーonz	一般社団法人千葉県タクシー協会
Open Street 株式会社	株式会社東海理化	公益財団法人ちば国際コンベンションビューロー
グラビス・アーキテクト株式会社	東京海上日動火災保険株式会社	公益社団法人千葉市観光協会
京セラコミュニケーションシステム株式会社	日本ペイント・インダストリアルコーティングス株式会社	公益財団法人日本サッカー協会
京成電鉄株式会社	日本モビリティ株式会社	幕張新都心ホテル協議会
京成バス株式会社	ビー・トランセホールディングス株式会社	幕張ベイタウン協議会
株式会社建設技術研究所	東日本旅客鉄道株式会社千葉支社	幕張ベイタウン自治会連合会
コストコホールセールジャパン株式会社	株式会社日立製作所千葉支店	一般社団法人幕張ベイパークエリアマネジメント
JFA 夢フィールド幕張温泉湯楽の里	幕張PLAY株式会社	千葉県
株式会社 JTB	株式会社幕張メッセ	千葉市

4.未来技術等の社会実装サポート

未来技術を活用した技術実証やサービス実証等をサポートします!!

1. 実証に係る相談支援

- 関係団体、関係省庁等のステークホルダーとの協議・調整
- 実証フィールドの確保（公共施設・公共用地の提供）

2. 財政的支援（本市が掲げるテーマに対して、公募により選定）

- 実証実験等の実施に係る経費の一部を補助（テーマごとに補助額の上限あり）
- ※R1.5 千葉市近未来技術等社会実装促進事業補助金 創設

3. 国家戦略特区を活用した規制改革

- 新たなビジネスを実現するための法規制を特区活用により突破

ドローン宅配:楽天グループ[®](株)
(旧楽天(株))



自動運転:BOLDLY(株)
(旧SBドライブ(株))



次世代モビリティ:(株)NTTドコモ



おわりに(規制改革アイデア募集)

規制改革 (規制緩和) のアイデアを募集しています！

皆様が「**千葉市**」をフィールドに事業を計画される際、
支障となる規制があれば、
それに対する**規制改革のアイデア**をお寄せください。





【担当】

千葉市 総合政策局 未来都市戦略部 国家戦略特区推進課

〒260-8722

千葉市中央区千葉港1番1号（市役所本庁舎6階）

TEL : 043 (245) 5346

FAX : 043 (245) 5551

Eメール : tokku.POF@city.chiba.lg.jp

ホームページ : <http://www.city.chiba.jp/sogoseisaku/miraitoshi/tokku/>